



2024-25 年度テーマ



第2670地区 宿毛ロータリークラブ会報

■会長	池 和明
■直前会長	岡崎 利久
■幹事	竹田 米廣
■クラブ奉仕委員長	西岡 弘徳
■職業奉仕委員長	有田 裕彦
■社会奉仕委員長	保田 孝司 (青少年奉仕委員長兼)
■国際奉仕委員長	高瀬 一也 (SAA 兼)
■会計	田淵 満博
■副幹事	秋澤 誠
■理事	増田 博和

■例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
 ■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
 ■事務所 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
 TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
 URL sukumorc-test.m-quartz.com
 E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2838回 令和6年7月25日(木曜日) 天気：曇 場所：秋沢ホテル

- 例会司会：西田 SAA
- 開会点鐘：秋澤副幹事
- Rソング：それこそロータリー
- お客様：河野貴之様
- プログラム：ゲストスピーチ/河野貴之様

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 池会長 (代読:秋澤)

皆さんこんにちは
 本日は有田実行委員長と仁淀 RC へ 60 周年の案内に行つて来ます。
 竹田幹事も体調崩して暫く欠席となります。
 皆さん、暑い時期ですので体調を崩さないように気をつけて下さい。
 お後宜しく申し上げます。

■幹事報告 秋澤副幹事 (代理)

中村ロータリークラブより：2024年度米山奨学生卓話依頼書、
 インスタグラム開設案内
 ガバナー事務所より：クラブ活性化セミナーのご案内
 欠席届 9名

■プログラム 西田 SAA 河野貴之様 「鮎について」

みなさんこんにちは、まずもって本町通り活性化クラブ主催の8/24 ふれあい夜市の寄付をいただきありがとうございます。



今日は鮎のことについてお話をさせていただきます、鮎は1年魚でして、秋に孵って2月の終わりから3月にかけて河戸堰を登っていきます。私が楽しんでいるのは放流されたダム湖の鮎です。四万十川は完全天然のものになります。私の大好きな友釣りは日本発祥の地だと言われています。静岡か京都が発祥の地だと思います。鮎というのはナワバリを持つ魚で、1メートル四方の苔を食べる習性があり、その縄張りに入ってくるオトリ鮎に対して体当たりして針にかかるというとても素晴らしい手法であり、これを考えた人は相当暇な人だったと思います。鮎の味はおらの川、おらのあゆでそれぞれ地元の釣り師は誇りを持っています。四万十川や郡上八幡などが有名なのですが、やはり地元最良ということで、すぐに食べられるという意味でも地元思考が強いのです。あのグルメで有名な魯山人は鮎を食べたければ3時に行かなければならないというほどです。

宿毛では片島大島の人に鮎をあげてもあまりよろこばないのですが、街区の人に差し上げるととても喜んでいただけます。7月の終わりからお盆あたりが最盛期です。この最盛期のあゆは香りも芳醇で脂も乗っています。秋口になると卵を持っているメスよりもオスの方が美味になっています。なぜ私が鮎を好きかと言いますと、私が母の体内にいたときに、母親が鮎を嗜好したということで、妊娠中鮎ばかり食べていたらしいです。その腹の中で育った私は鮎を愛好することになったのです、それと鮎の生き方は日本人の琴線に触れるような生き方にも惹かれたこともありました。



(右:松田川の鮎 右:出井の川)

日本人の美意識は桜、武士、檜、鯛と言われますが、その潔さを評価するならば鯛ではなく鮎ではないかと思っています。日本一長い距離を遡上するのが鮎と言われており、力強くも儂さを感じる潔い日本人向けの思想を感じています。そのためには日本の自然を守っていかなければならないと思っています。

質疑応答が活発に行われました。



左:話題になった「鮎の塩ゆで」 右:そのレシピ 四万十川の冬の風物詩、落ち鮎漁。この時期だけの塩煮は四万十市を代表する郷土料理。夏鮎とは違った美味しさです。

■ニコニコ報告 西田 SAA

有田会員 河野様本日はありがとうございました。 2000円

■出席報告 西田 SAA

48.00%

★池会長・有田実行委員長は仁淀RCへ60周年PR活動の為欠席でした